

牛久保真由さん公認会計士短答式試験合格体験記

”人生は、人と人との出会いから！～ 大学院 ～ 公認会計士へ ～”



三大国家試験の一つである公認会計士を目指すことになるとは、5年前の私は夢にも思っていませんでした。今年、競争率12倍の難関を乗り越えて、私は公認会計士への道に大きな一歩を踏み出そうとしています。

なぜ、私が公認会計士を目指すようになったのか。そのきっかけは、専門学校時代まで遡ります。幼いころからパティシエールになることを夢に抱き、その夢をかなえるため高校卒業後は洋菓子の専門学校に進学しました。そしてそこで、羽渕先生との運命的な出会いがあったのです。先生は「特別講義」として『簿記の基礎』を私たちに享受してくださいました。その手ほどきが、あまりに魅力的で、衝撃を受けたことを今でも覚えています。

そして、専門学校卒業後、洋菓子店に就職し、一年間パティシエールとして働きましたが、簿記の面白さが忘れられず、もう一度勉強するために、羽渕先生が開校しているABC公認会計士アカウンティングスクールに通うことにしました。そこで勉学に励み、先ずは日商1級を取得し、さらに最高峰の全経上級に合格の後、羽渕先生の勧めのもと、城西大学大学院経営学研究科に進学し、公認会計士を目指すことになったのです。

『国家資格の公認会計士』なんて雲の上の存在で、ましてや自分がその試験に合格できるのか。最初はそんな不安が頭から離れませんでした。しかし羽渕先生が蓄積した多数のノウハウや資料があり、また先生が指導している「公認会計士研究会」で公認会計士を目指す多数の学生と共に早朝から夜遅くまで切磋琢磨しながら勉強に励むことができる環境があったので、そんな不安はすぐに消し飛びました。

豊富な資料と充実した環境下で、毎日、自分で学習計画を立て、実行し、そうしてその成果を評価し次の学習計画に取り入れるといったサイクルで学習を継続し、着実に実力をつけていき、ついに今年の5月に公認会計士短答式試験に合格することが出来ました。

公認会計士試験を学習する方法は、専門学校に通う等、様々な方法があります。これらの方法は公認会計士試験のみに特化して勉強する

ことができるといったメリットがありますが、城西大学大学院には、そういった専門学校より更に幅広く種々の情報が蓄積されており、自分のペースで着実に学習できる最高の環境が整っています。また、研究科長草野先生をはじめ、先生方の様々な講義を受講し、多数の留学生と触れ合うことで、公認会計士試験の知識だけでなく今後社会に出ていくうえで、自分の糧となるグローバルな知識を習得し、より豊かな「人間力」を身につけることができたとは私は確認しています。私は城西大学大学院に入学して本当に良かったと心から思っています。

5年前、ケーキを作っていた私が想像もしなかった世界に！いま私はいます。そしてきっと5年後も今は全く想像していないような世界に飛び込んでいるのでしょう。その5年後の世界が素晴らしいものであるために、今はまず、残り少ない大学院生活を満喫しつつ、立派な修士論文を完成したいと考えています。

最後に、このような世界に私を導いてくださった羽渕先生、そして草野先生をはじめとする城西大学の先生、職員の方、そして常に支えてくれた両親に心からの感謝と御礼を申し上げます。



牛久保 真由 (大学院2年)

平成29年11月2日

顧問：羽渕 信宏
経営学研究科長：草野 素雄

Josai University
Graduate School of
Business Administration

